

# 2016年度 決算概況 (2017年3月期)



2017年5月1日

代表取締役社長

**米谷 信彦**

本資料に記載されている業績見通しや将来予測は、資料作成時点での当社の判断であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

**2016年度 連結業績実績及び**  
**2017年度 公表値**

# 連結業績の状況

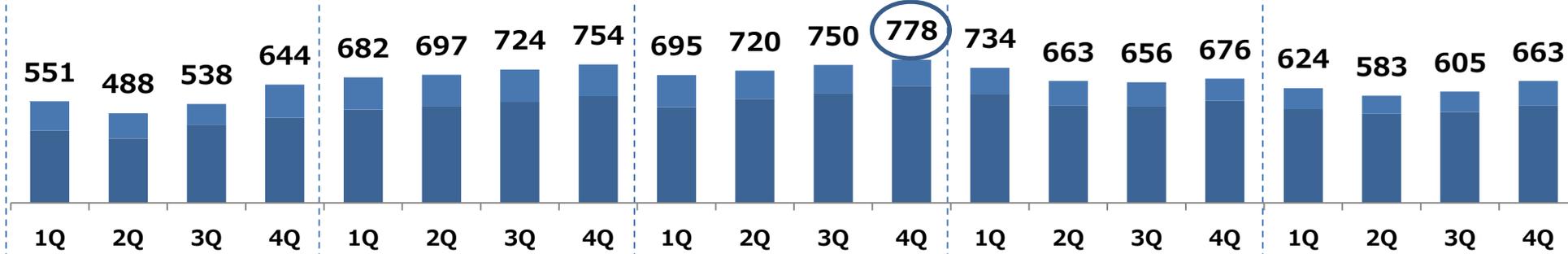
	2015年度 (2016年3月期)	2016年度(2017年3月期)			増減 (前期比)	為替影響	2016年度 (1/27公表値)
		上期	下期	通期			
売上高	2,730億円	1,208億円	1,268億円	2,477億円	△253億円 △9.3%	純売上減△29億円 為替影響△224億円 <<為替影響の内訳>> ・USD △143億円 ・EUR △40億円 ・CNY他 △42億円	2,450億円
営業利益	54億円	12億円	43億円	56億円	+1億円 +3.3%		46億円
経常利益	61億円	△1億円	75億円	74億円	+12億円 +20.6%		59億円
親会社 当期純利益	106億円	△21億円	98億円	77億円	△29億円 △27.5%		65億円
	120円/USD 133円/EUR	105円/USD 118円/EUR	111円/USD 119円/EUR	108円/USD 119円/EUR	△12円/USD △14円/EUR		107円/USD 118円/EUR
1株当たり 当期純利益 (E.P.S.)	155円14銭			112円57銭	【為替感応度 ・USD 1円影響：1.1億円/年 ・EUR 1円影響：1.2億円/年	94円29銭	
配当	30円(年間)			30円(予定)		30円(予定)	
R.O.E.	7.5%			5.4%		4.5%	
R.O.A.	5.1%			3.8%		3.2%	

# 四半期業績の推移 (セグメント別)

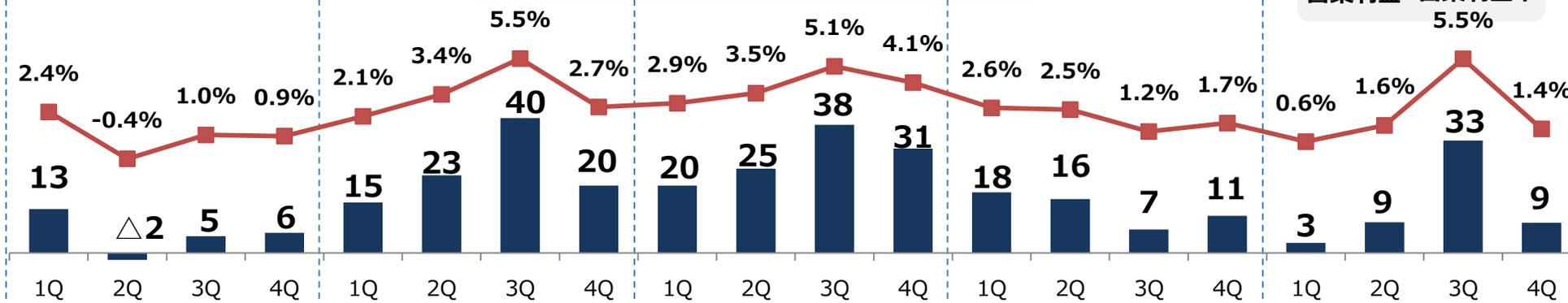
音響機器  
情報通信機器  
売上

単位:億円

## 四半期毎の売上高推移



## 四半期毎の営業利益



営業利益  
営業利益率

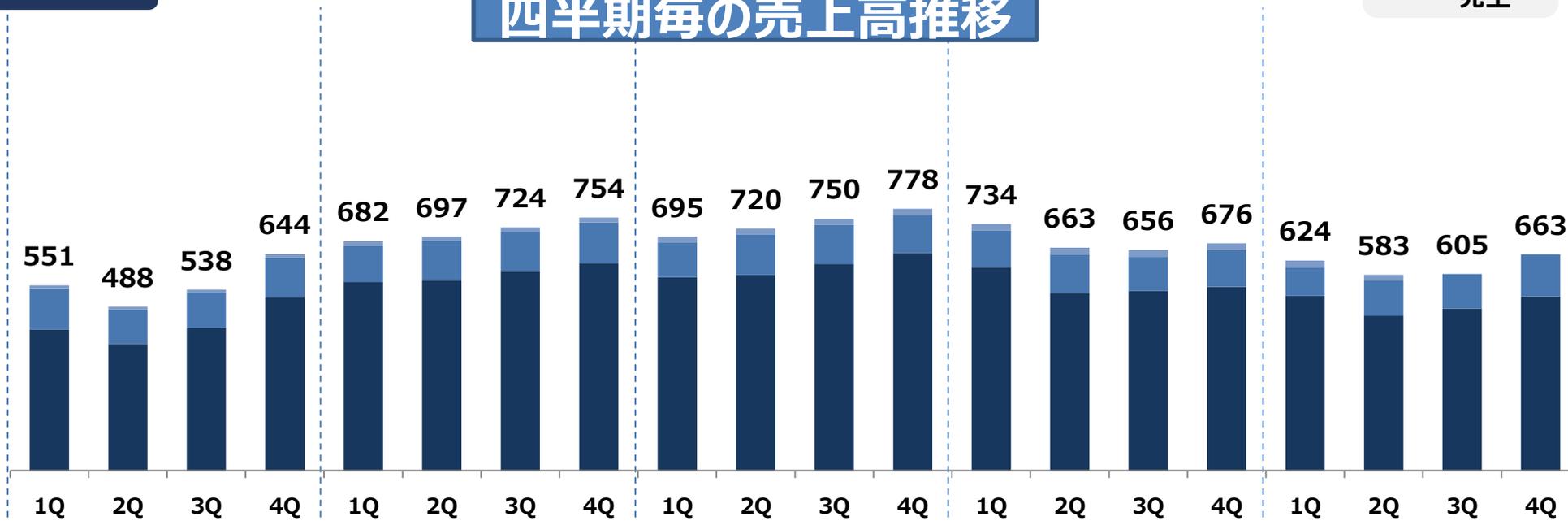
	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
円/USD	80.2	78.6	81.2	92.4	98.8	99.0	100.5	102.8	102.2	103.9	114.5	119.1	121.4	122.2	121.5	115.5	108.1	102.4	109.3	113.6
円/EUR	102.9	98.4	105.3	122.0	129.0	131.1	136.7	140.8	140.1	137.8	143.1	134.2	134.2	136.0	133.0	127.2	122.0	114.3	117.8	121.1

# 四半期業績の推移 (販売先別)

その他   
 市販   
 OEM   
 売上

単位:億円

## 四半期毎の売上高推移



	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
円/USD	80.2	78.6	81.2	92.4	98.8	99.0	100.5	102.8	102.2	103.9	114.5	119.1	121.4	122.2	121.5	115.5	108.1	102.4	109.3	113.6
円/EUR	102.9	98.4	105.3	122.0	129.0	131.1	136.7	140.8	140.1	137.8	143.1	134.2	134.2	136.0	133.0	127.2	122.0	114.3	117.8	121.1

# セグメント別・販売先別売上高実績

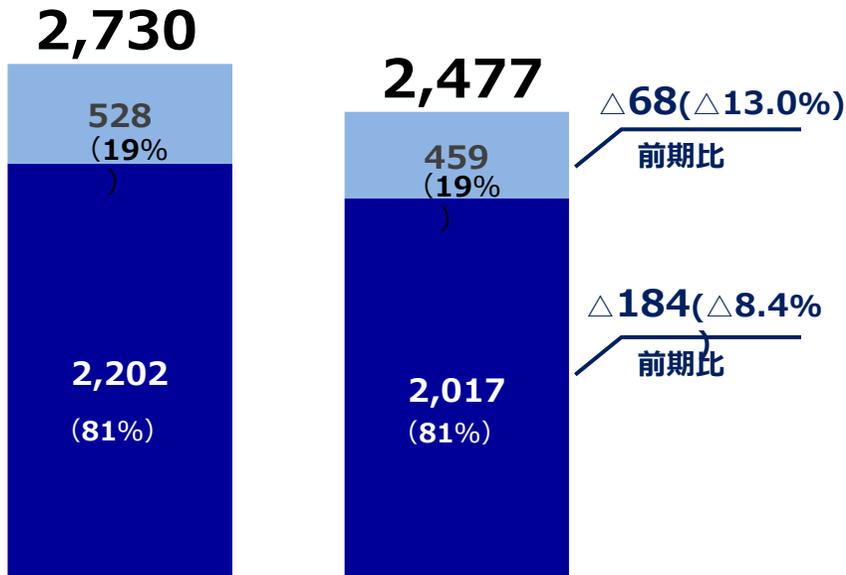
単位:億円

## セグメント別

前期比  $\Delta$  253 

[純売上減 $\Delta$ 29, 為替影響 $\Delta$ 224]

音響   
情通 



2015年度  
実績

120円/USD  
133円/EUR

2016年度  
実績

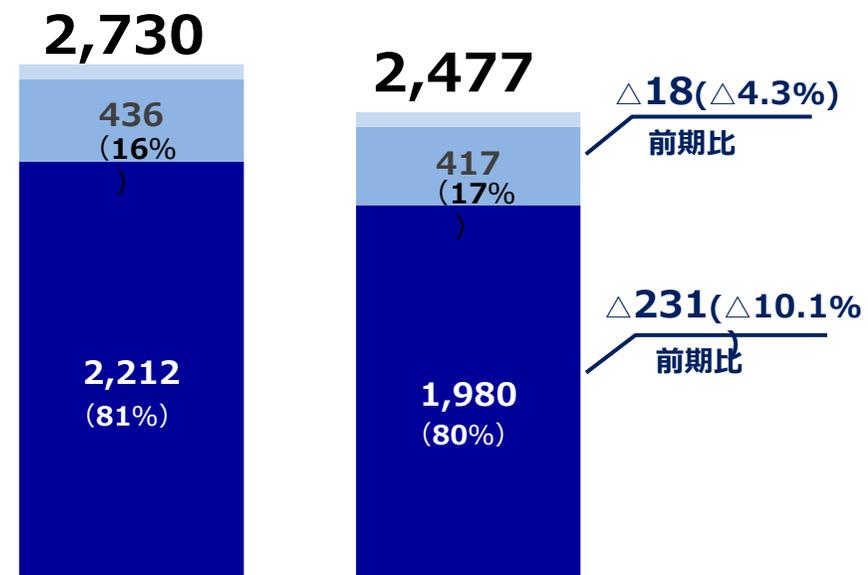
108円/USD  
119円/EUR

## 販売先別

前期比  $\Delta$  253 

[純売上減 $\Delta$ 29, 為替影響 $\Delta$ 224]

その他   
市販   
OEM 



2015年度  
実績

120円/USD  
133円/EUR

2016年度  
実績

108円/USD  
119円/EUR

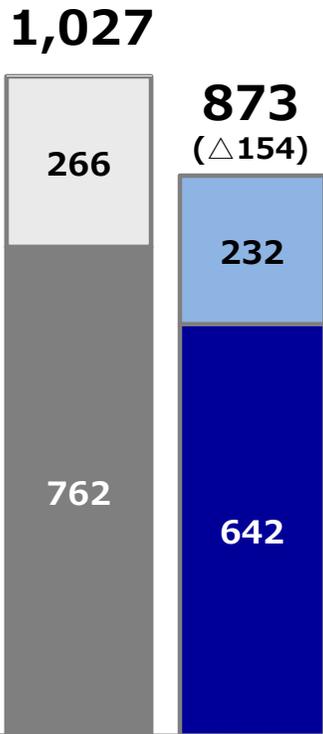
# 地域別売上高実績

単位:億円



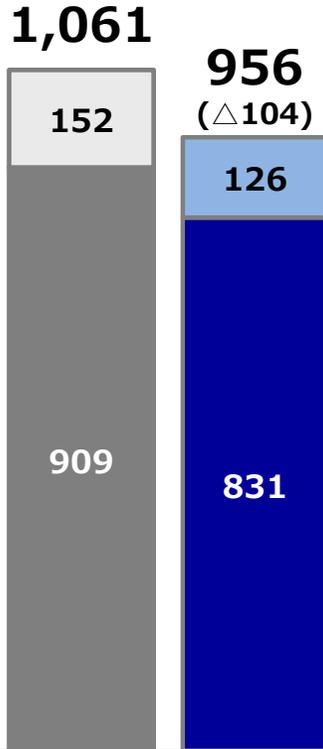
## 北米

前期比  $\Delta$ 15.0%



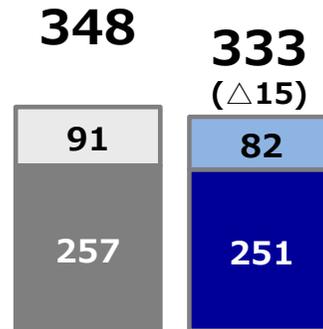
## 欧州

前期比  $\Delta$ 9.9%



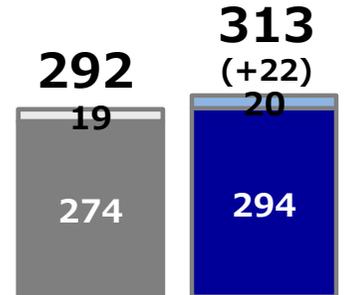
## アジア・他

前期比  $\Delta$ 4.4%



## 国内

前期比 +7.4%



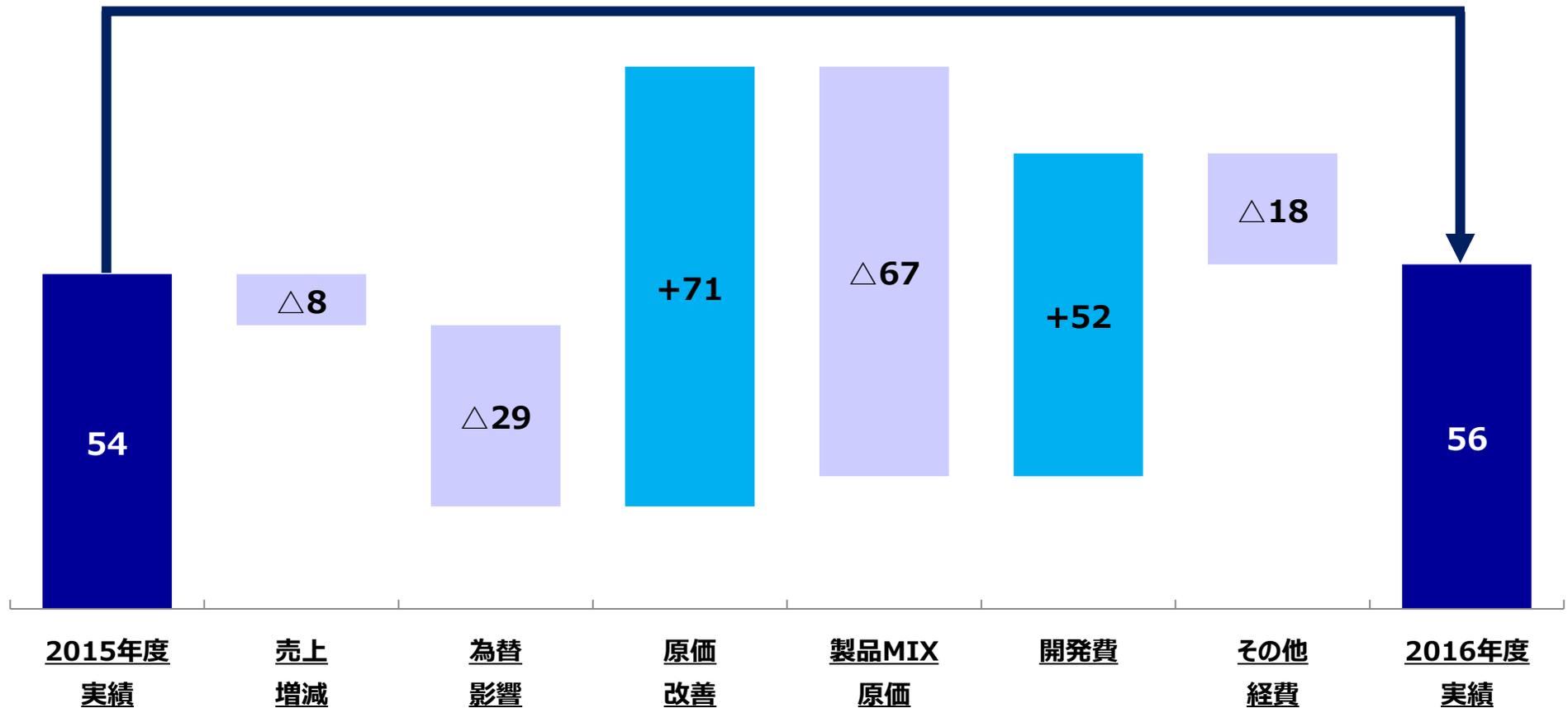
# 営業利益の状況(前期比)

単位:億円

## 営業利益

前期比 +1 

増益要因   
減益要因 



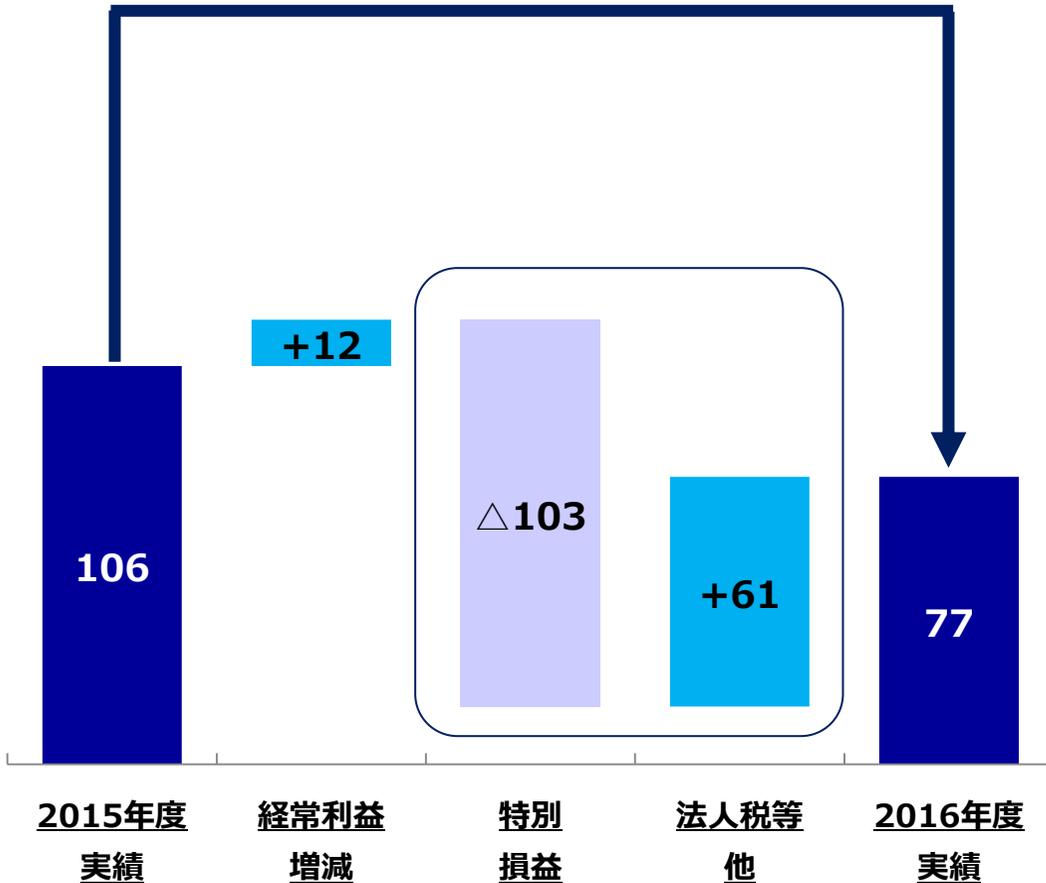
# 親会社当期純利益の状況(対前期比)

増益要因 ■  
減益要因 ■

単位:億円

## 親会社当期純利益

前期比  $\Delta 29$  ▶



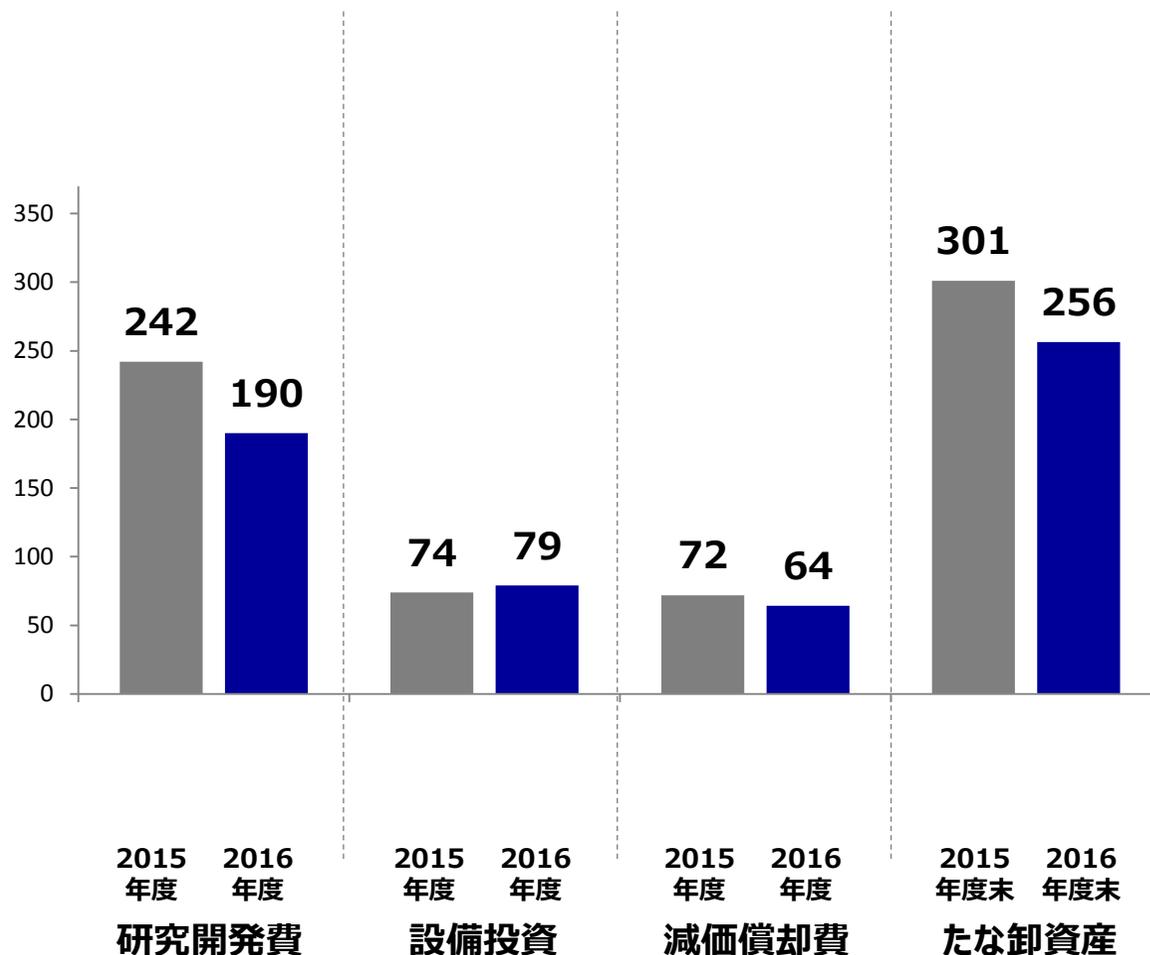
## ポイント

### 【特別損益・法人税等増減内訳】

- ・関係会社株式売却益(Neusoft株式)  $\Delta 93$   
 ※FY15 : 156 ⇒ FY16 : 62億円
- ・持分法変動損失増  $\Delta 7$
- ・法人税等減 +28
- ・法人税等調整額減 +31

# 主要投資・資産状況

単位:億円



## ポイント

### 1. 研究開発費△52

- ・組込みソフトウェア資産化△22
- ・開発費回収増△20
- ・効率化△10

### 2. 設備投資+4

- ・組込みソフトウェア資産化+22
- ・為替影響による減△18、他

### 3. 減価償却費△8

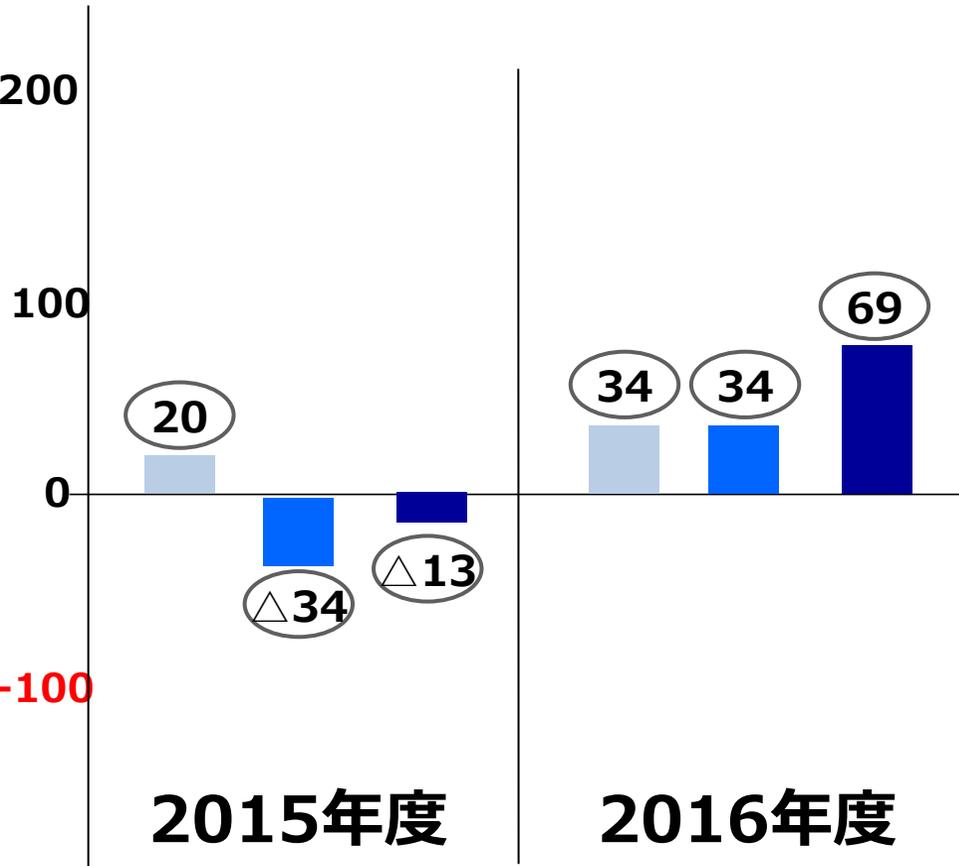
- ・為替影響による減、他

### 4. たな卸資産△44

- ・在庫削減活動と為替影響(為替影響△13)による減

# キャッシュ・フロー実績

単位:億円



## ポイント

フリーCF+69

1. 営業CF+34

増加要因	減少要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・税前当期純利益+131</li> <li>・減価償却費+64</li> <li>・たな卸資産減少+32</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持分法投資利益△15</li> <li>・関係会社株式売却益△62</li> <li>・売上債権増△45</li> <li>・仕入債務減△10</li> <li>・法人税等△59、他</li> </ul>

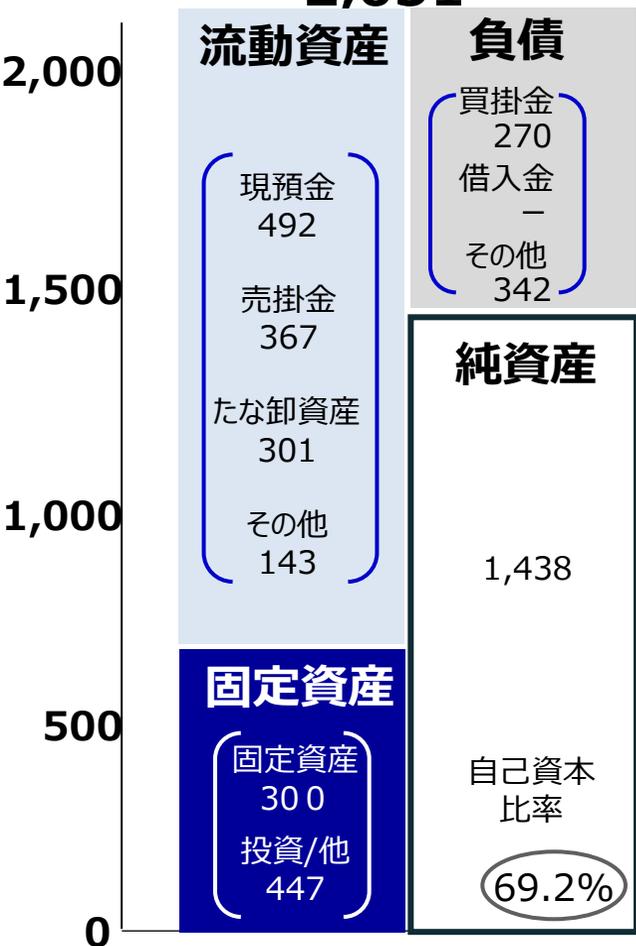
2. 投資CF+34

増加要因	減少要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係会社株式売却+93</li> <li>・貸付金回収+31、他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形/無形固定資産取得△78</li> <li>・出資金の払込△16</li> </ul>

# 貸借対照表実績

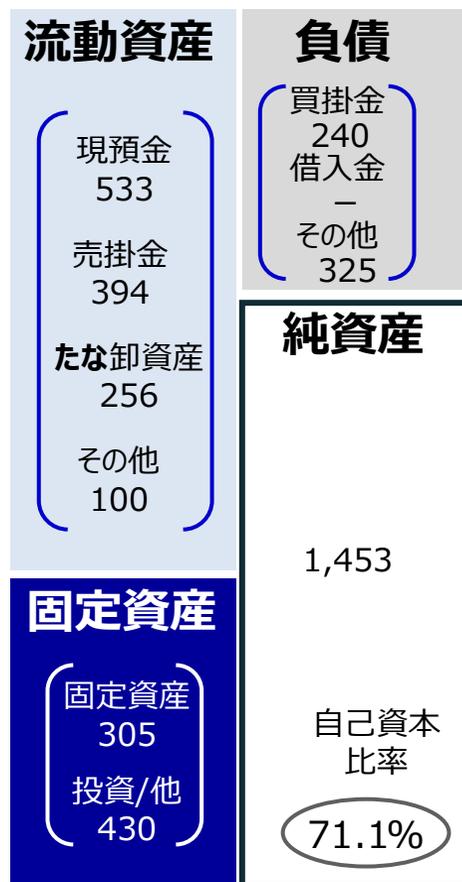
単位:億円

**総資産**  
**2,051**



**2015年度末**

**総資産**  
**2,018**



**2016年度末**

## ポイント

- 総資産2,018(△33)  
(内、為替影響△56)
  - 流動資産1,283 (△20)  
(内、為替影響△47)
    - 現預金+40、売掛金+26、貸付金△33、  
たな卸資産△44、他
  - 固定資産735 (△12)  
(内、為替影響△6)
    - 出資金等△17、他
- 純資産 1,453 (+15)
  - 利益剰余金+56  
(当期純利益+77、配当△20)
  - 為替換算調整勘定減△40、他

# 2017年度 連結業績予想

# 2017年度 通期連結業績予想

	2016年度(2017年3月期)			2017年度(2018年3月期)			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	差異
売上高	1,208億円	1,268億円	2,477億円	1,200億円	1,300億円	2,500億円	22億円
営業利益	12億円	43億円	56億円	21億円	44億円	65億円	8億円
経常利益	△1億円	75億円	74億円	17億円	39億円	56億円	△18億円
親会社 当期純利益	△21億円	98億円	77億円	△10億円	18億円	8億円	△69億円
	105円/USD 118円/EUR	111円/USD 119円/EUR	108円/USD 119円/EUR	108円/USD 116円/EUR	108円/USD 116円/EUR	108円/USD 116円/EUR	△0円/USD △3円/EUR
1株当たり 当期純利益 (E.P.S.)			112円57銭			11円60銭	△100円97銭
配当			30円(予定)			30円(予定)	-
R.O.E.			5.4%			0.6%	△4.8%
R.O.A.			3.8%			0.4%	△3.4%

# セグメント別・販売先別売上高予想

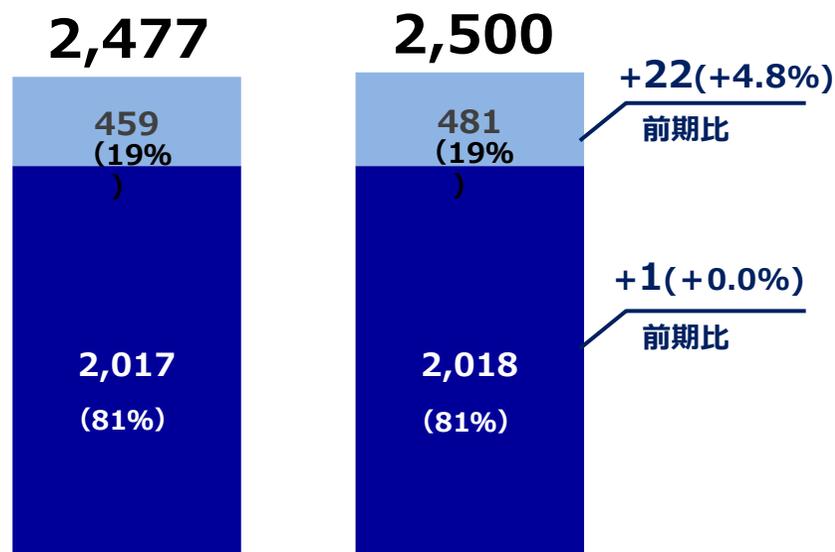
単位:億円

## セグメント別

前期比 +22

[純売上増 + 39, 為替影響△17]

音響  
情通



2016年度  
実績

2017年度  
予想

108円/USD  
119円/EUR

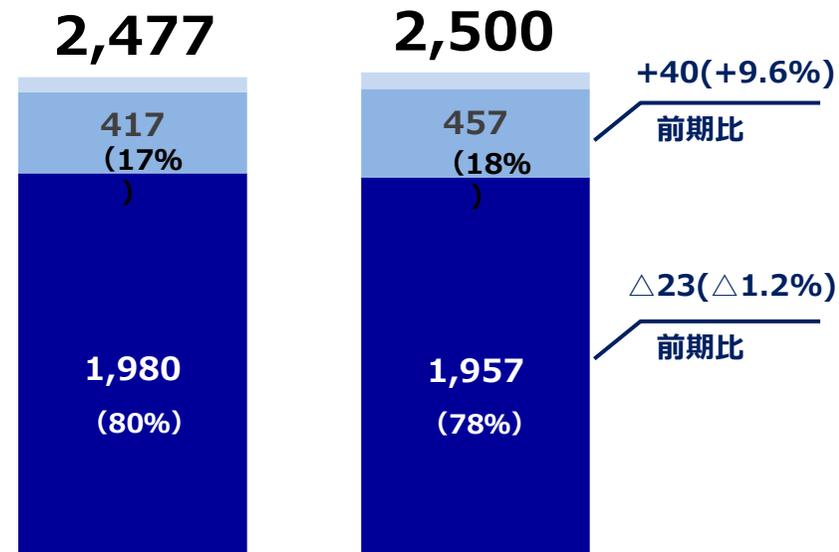
108円/USD  
116円/EUR

## 販売先別

前期比 +22

[純売上増 + 39, 為替影響△17]

その他  
市販  
OEM



2016年度  
実績

2017年度  
予想

108円/USD  
119円/EUR

108円/USD  
116円/EUR

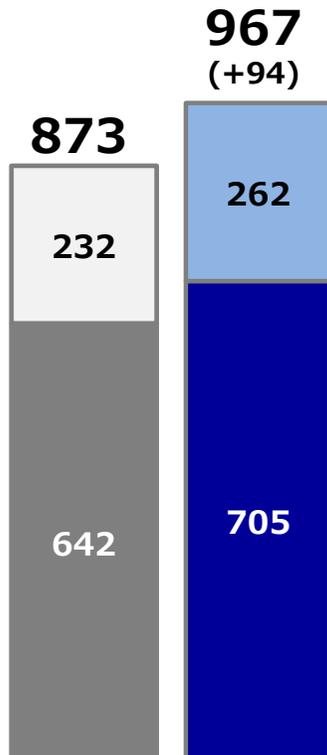
# 地域別売上高予想

単位:億円

音響機器  
情報通信機器  
2016年度実績 2017年度予想

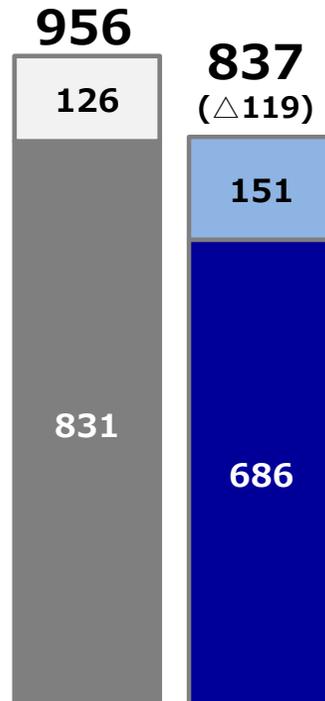
## 北米

前期比 +10.7% ↗



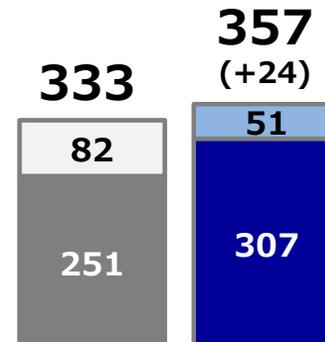
## 欧州

前期比 △12.4% ↘



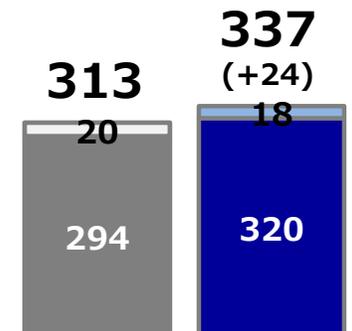
## アジア・他

前期比 +7.1% ↗



## 国内

前期比 +7.7% ↗



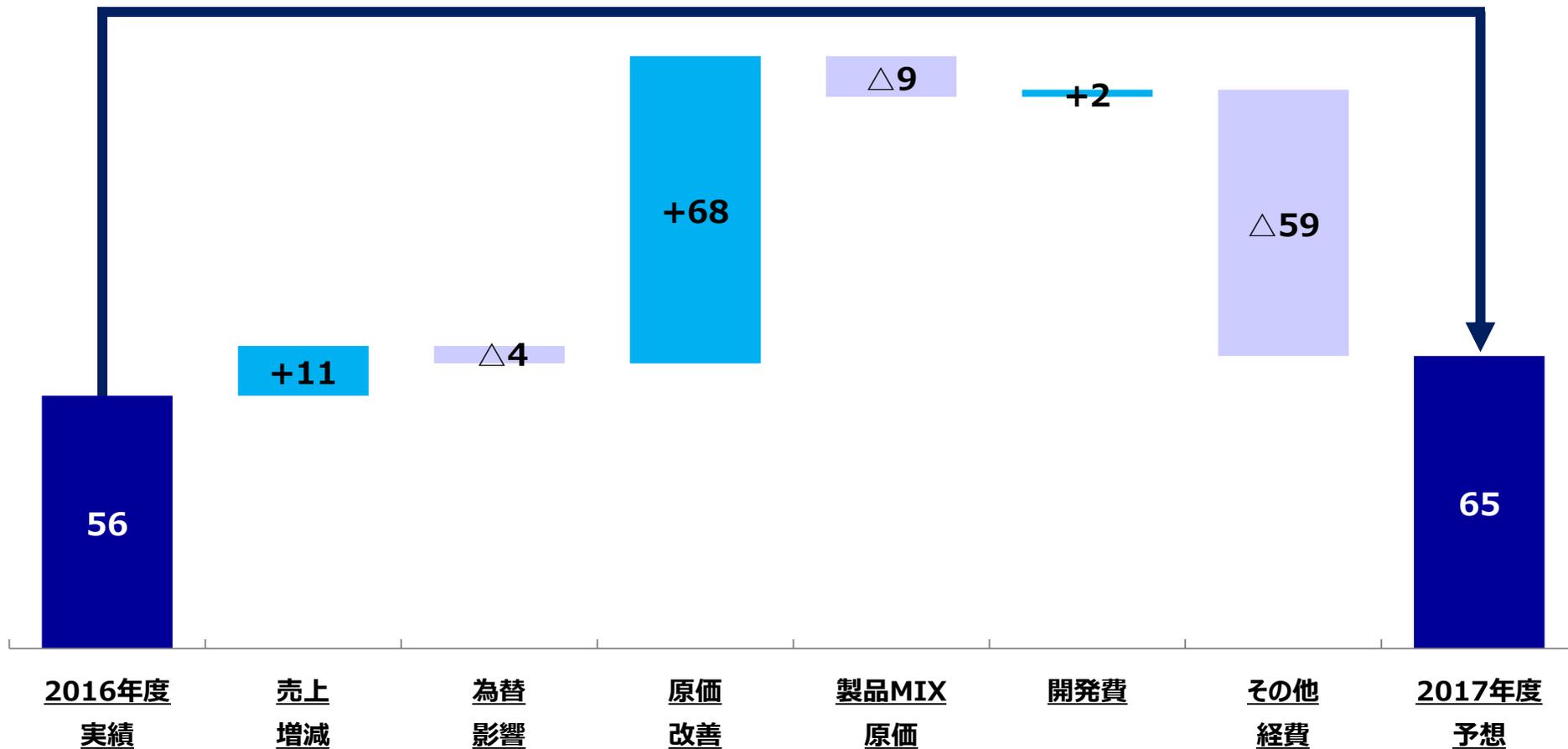
# 営業利益予想（前期比）

## 営業利益

前期比 +8 

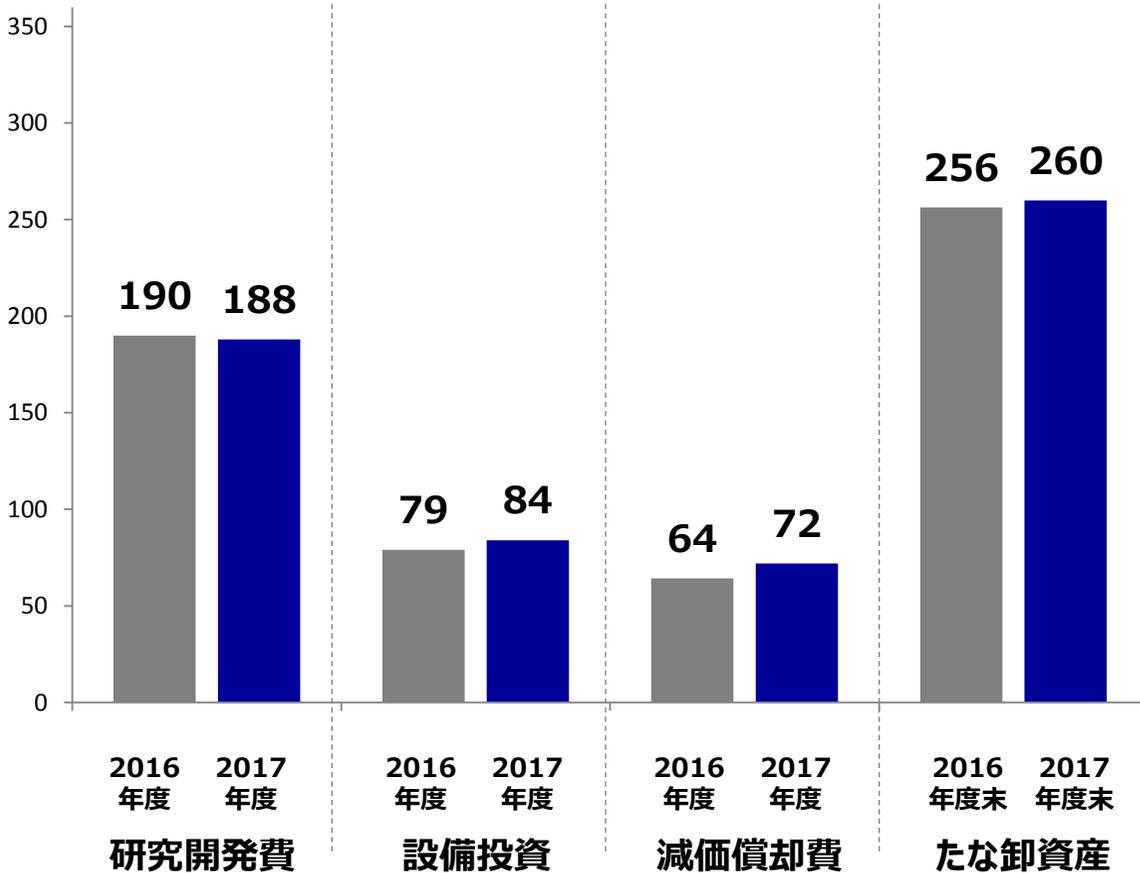
増益要因   
減益要因 

単位:億円



# 主要投資・資産計画

単位:億円



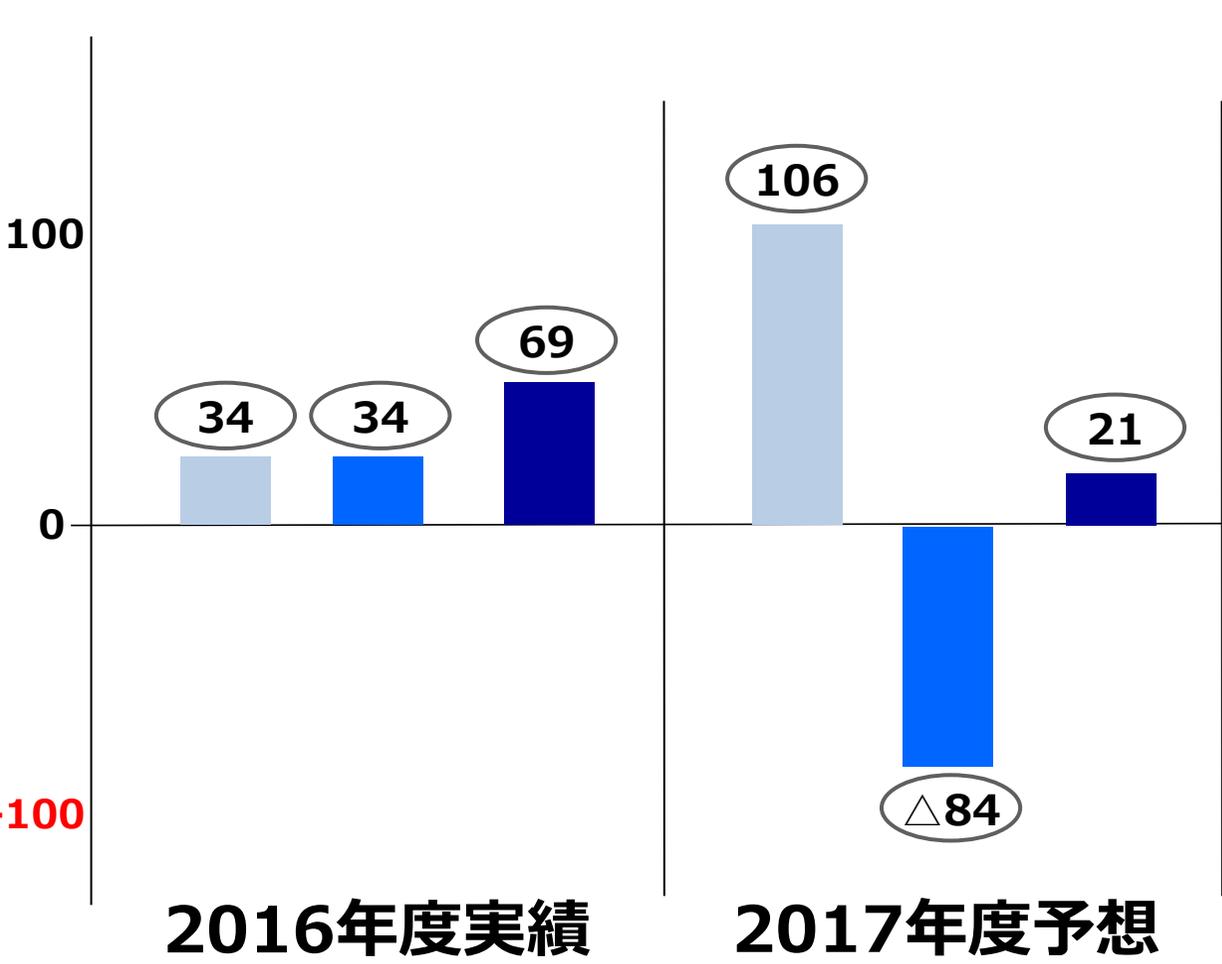
## ポイント

1. 研究開発費△2
2. 設備投資+5
  - ・設備投資増+22
  - ・ソフト開発費資産化△18、他
3. 減価償却費+8
  - ・ソフト資産償却費増+4
  - ・減価償却費以上の投資継続による増+4
4. たな卸資産+4

# キャッシュ・フロー予想



単位:億円



**ポイント**

**フリーCF+21**

**1. 営業CF+106**

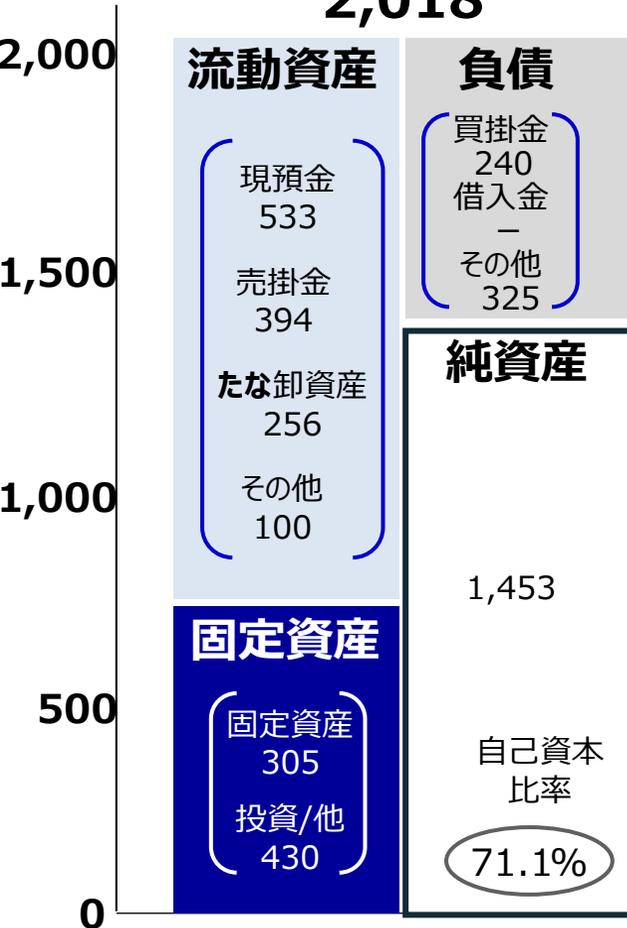
- ・税前当期純利益+41
- ・減価償却費+72
- ・たな卸資産増△4、他

**2. 投資CF△84**

# 貸借対照表予想

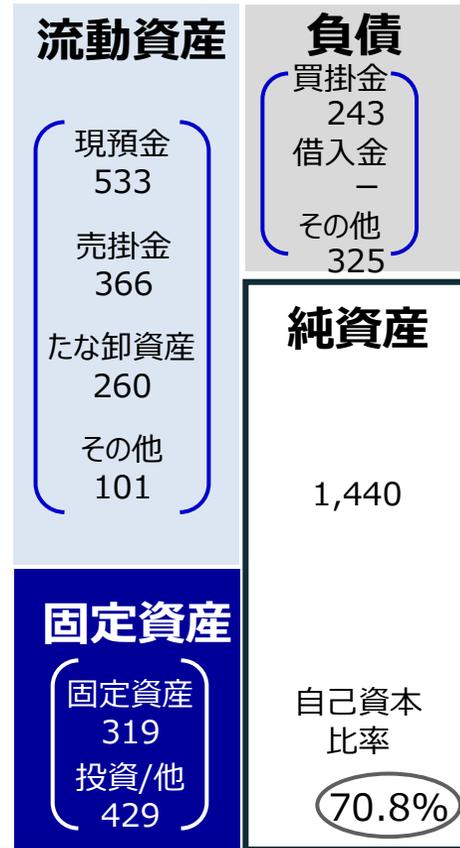
単位:億円

**総資産**  
2,018



2016年度末

**総資産**  
2,008



2017年度末予想

## ポイント

- 総資産2,008(△10)
  - 流動資産1,255 (△23)
    - ・売掛金△27、たな卸資産+4、他
  - 固定資産748 (+13)
    - ・有形/無形固定資産+13
- 純資産 1,440 (△13)
  - ・利益剰余金△13  
(親会社当期純利益+8、配当△20)、他

# 2016年度 活動報告

## 新たな価値創造が認められ市場・お客様から評価

### GM 「サプライヤー・オブ・ザ・イヤー」 3年連続受賞

\*供給/サービスなど総合的に高評価  
2万社の中から118社が選定されたもの

#### ◆受賞製品：ICSディスプレイ



### ホンダアクセス 2016年 優良感謝賞

#### ◆2年連続の受賞

#### ◆S660向け 新開発小型スピーカー



### 2017 CES イノベーション賞

\*世界最大の家電ショー北米CESにおいて  
優れたデザインと技術を持つ製品を表彰

#### ◆受賞製品： iLX-107 業界初ワイヤレスCarPlay対応 ディスプレイオーディオ。



#### ◆受賞製品： X209-WRA ジープラングラー専用。 オフロード走行を想定し 防水防塵対応。



### 顧客満足度 5年連続1位受賞

#### ◆受賞製品：

#### ビッグXシリーズ

#### ◆北米の名誉ある顧客満足度調査で 2016年市販カーナビ部門 2012年以來5年連続の 「顧客満足度1位」を受賞。



11インチ画面カーナビと「未踏の音」スピーカーの新製品を発売。



世界最大サイズ  
11インチ画面搭載ナビ  
ビッグX “11”

「未踏の音」を奏でる  
新スピーカーシリーズ

**X** Premium Sound

未踏の音。

2016年10月。  
新型スピーカー「X」誕生。



## アルパインスタイル・カーシェアリング

### 目的/展開

#### 目的

アルパインスタイル目的別シェアカー  
による“カーライフ”提案

カレコ タイアップによる  
アルパインスタイル目的別シェアカー  
5車種7台をテスト展開中



アルファード



ヴェルファイア



ヴォクシー



エスクアイ



デリカD5

### 今後の取り組み

アルパイン仕様ミニバンに  
ウィンタースポーツ車が仲間入り



アルパイン  
ウィンタースポーツ4WD  
デリカD:5  
登場!



雪道も快適・安心・安全の充実装備で  
スキー・スノボに行こう

(アルパインスタイル デリカD5 ウィンター仕様)

お客様よりご好評頂く



カーライフ特化型車両の拡大を検討

## アルパインスタイル・カスタマイズカー事業スタート (2017年4月～)

### 目的/展開

#### 目的

インテリア+エクステリア 車両全体による  
“カーライフ” 提案を実行

【主力5車種より展開開始】



#### ■ミニバン

- ・トヨタ アルファード
- ・トヨタ ヴェルファイア

#### ■SUV

- ・トヨタ ハリアー
- ・ホンダ ヴェゼル
- ・マツダ CX-3

### 新販売チャネルの立ち上げ

認定店 1号店 4/1 オープン



■1号店: New's Cars 福岡

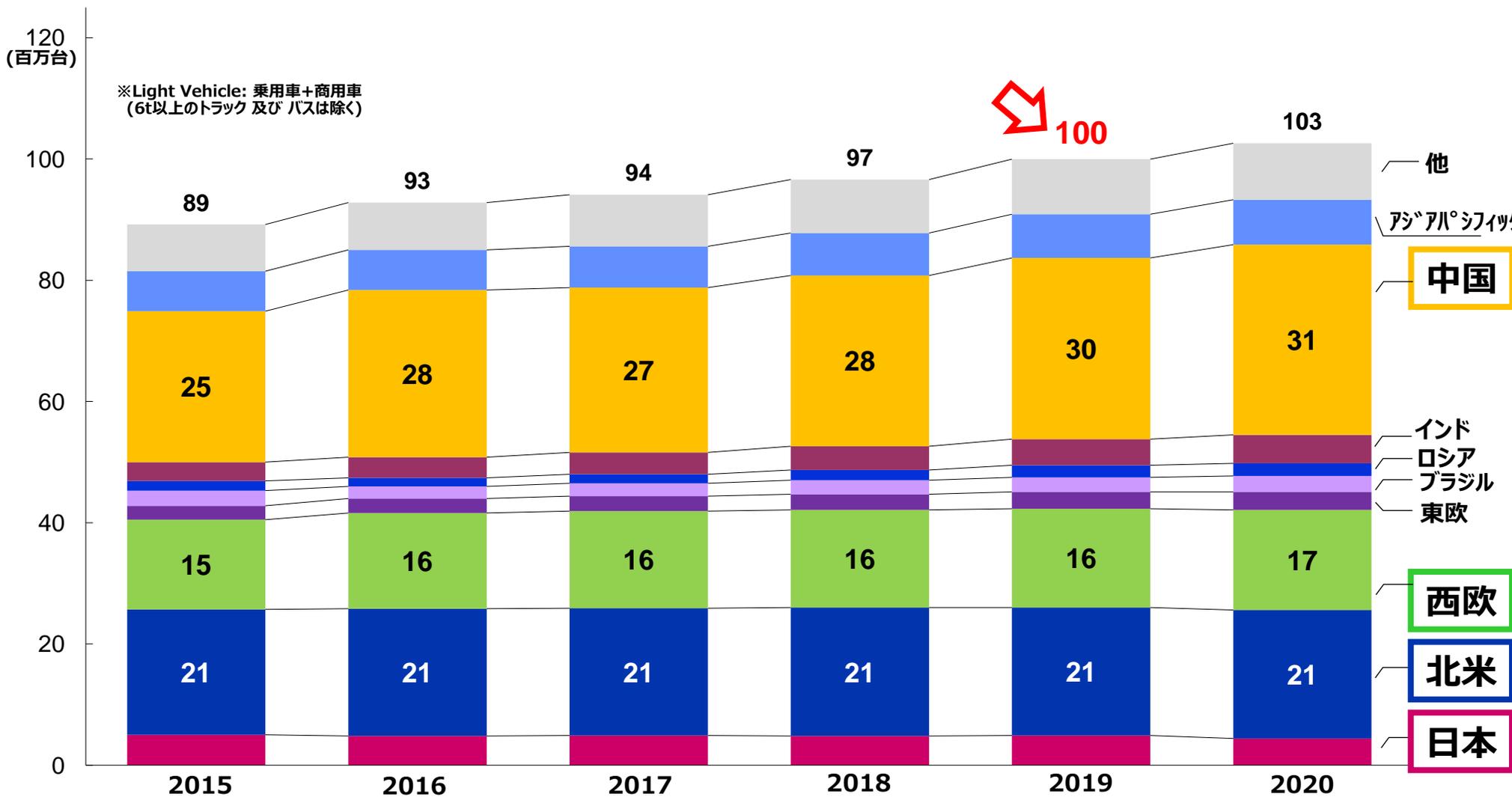
アルパインストア(EC直販サイト) 4/1オープン



# 中期経営計画 今後の取組内容

# 新車販売動向 - 地域別

世界自動車市場は19年に1億台、年率2%以上の継続成長予測。



Source: LMC Automotive "Global Car and Truck Forecast(2016.4QTR)"

# クルマを取り巻く4大トレンド

2025年以降に向けた取組を加速。

## 自動運転



## コネクティッド



## EV



## シェアリング



車好きだけでなく、あらゆるモビリティユーザーへ  
もっと車に乗りたくなる気持ちいい、心地いい  
時間・空間を提供



### ■ 求められるHMI要素

#### 意思疎通効率

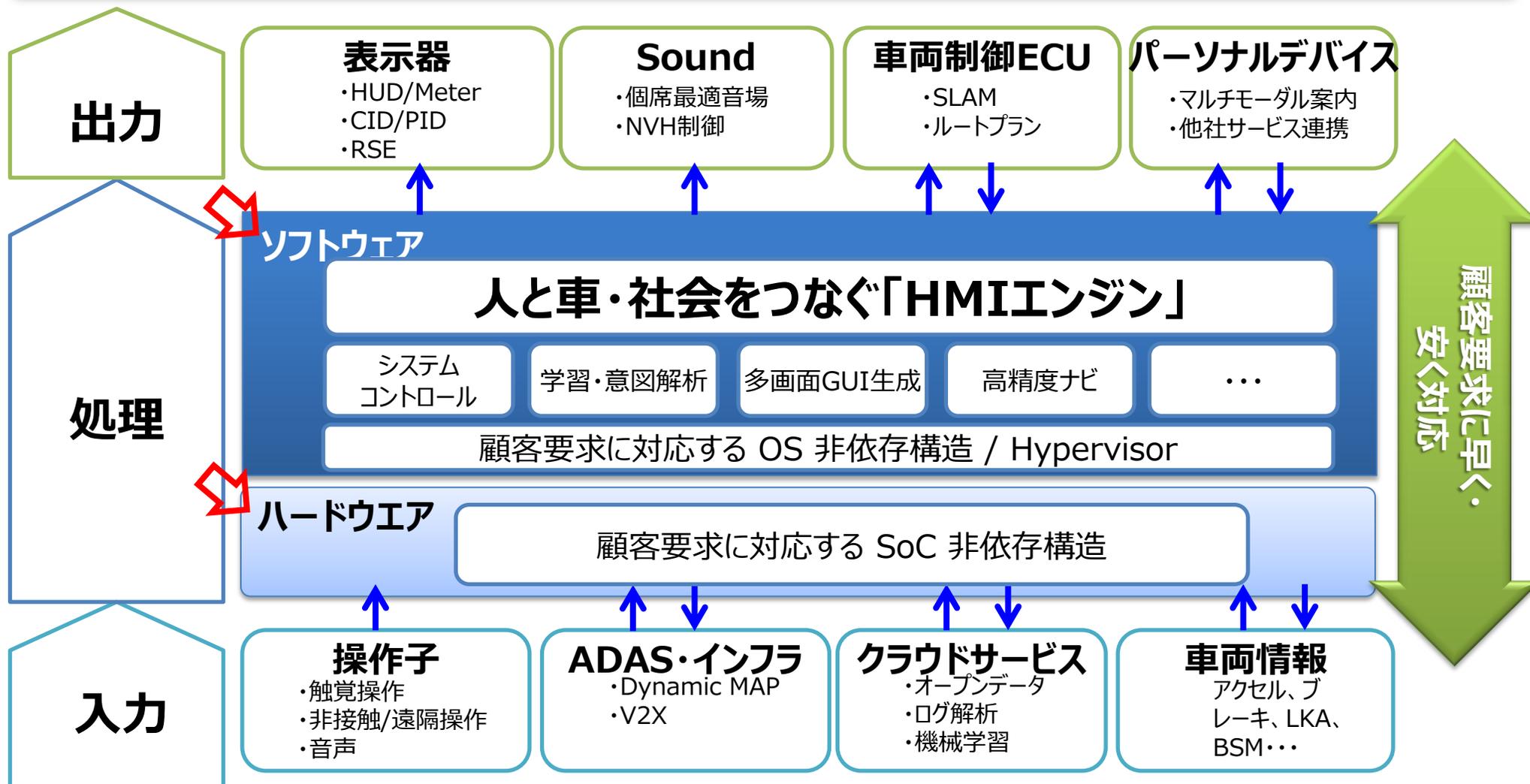


#### ポジティブサプライズ

期待を半歩超えた機械のリアクション

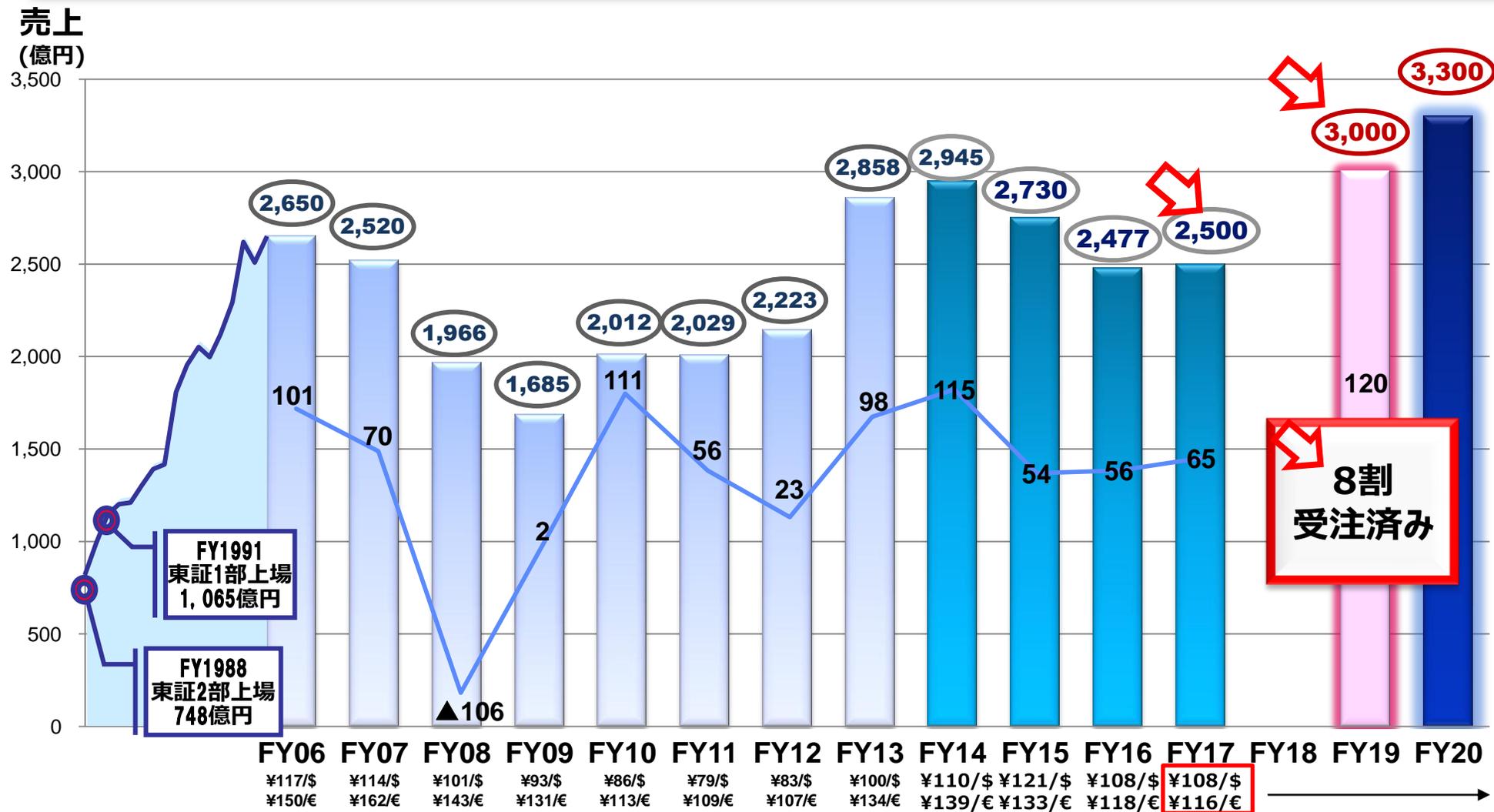
五感を刺激する演出

システム・サービス全体の付加価値構築。  
→ハードウェア・アプリ画面で魅力創出。



# 第14次中期経営計画/受注状況

2019年度 売上目標3000億円、営業利益120億円。  
約8割は受注済み。



## 目標

モビリティ社会を見据えた  
独自性・付加価値ある  
技術を創り出す

HMI技術

運転支援  
センシング技術

コネクテッド技術

IVIシステムを支えるハード・ソフトを具現化する

- 選択と集中による良質なビジネスの取組み推進 -

INFOTAINMENT

CDU要素技術を確立する

- 事業の良質化と持続的成長の両立 -

DISPLAY

音を自在にControlし人・音・車の関係を極める

- 目指す姿を描き、現実とのGapを明確にした戦略立案 -

SOUND  
/MECH

センシング・コミュニケーション技術を確立する  
/感動UXを創出する

- ターゲットを絞ったマーケティングとオープン・イノベーション創出 -

NEW

コスト力強化

競争力のある製品構造/部品コストの実現・ソフト開発効率化

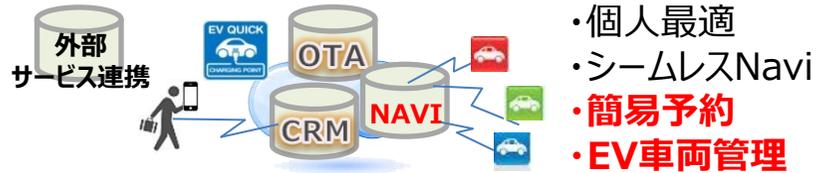
# インフォテインメントシステムの変化(～MY2025)

車載器は大きく2つのシステム・形態に集約。  
→ 「統合型HU」、「ライトHU」

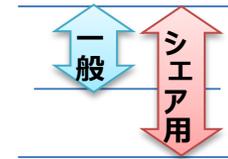
## 半自動運転時代のプレミアムシステム

## モビリティカー/Entryシステム

クラウド・サービス

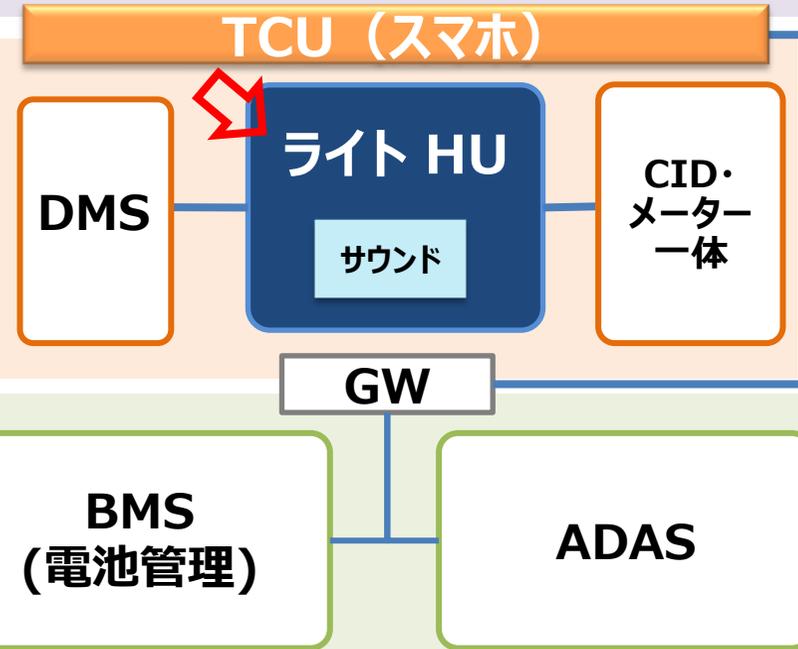
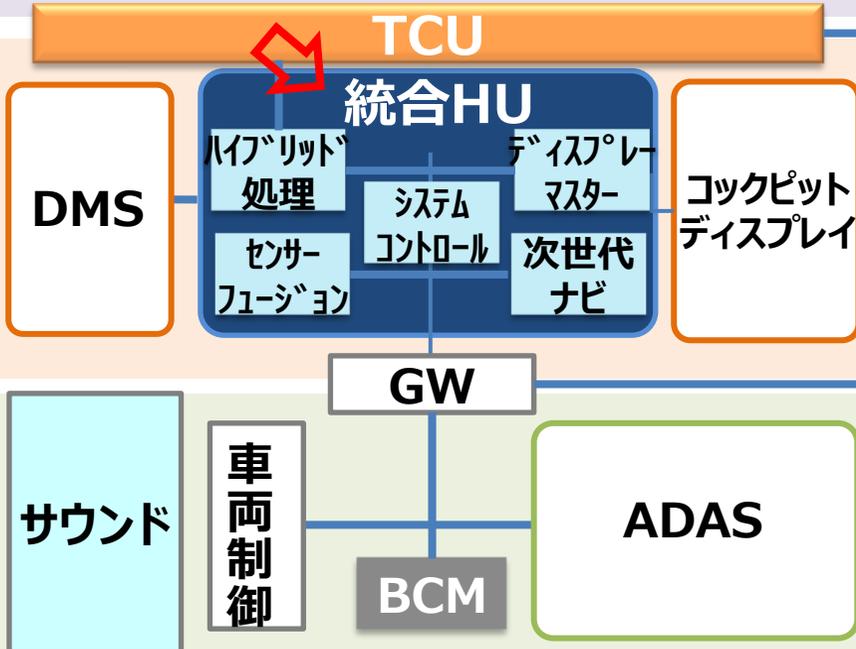


- ・個人最適
- ・シームレスNavi
- ・簡易予約
- ・EV車両管理



HIシステム

車両



CID単独Biz ⇒ 多様なCockpit Displayをビジネス化。

- 中期 センターコンソール統合ユニット/HUD製品ポジション獲得
- 長期 自動運転時代の快適空間コックピット表示全体へ拡大

中期

センターコンソール  
統合ユニット

多機能統合価値の創出

中期

HUD

業界最小パッケージ  
サイズ実現

長期

大型複合  
Displayユニット

コックピット表示機能複合

長期

電子ミラー

自然画像電子ミラー

# サウンド ビジネスユニット

CY	短期(17-18)	中期 (19-21)	長期 (22-25)
事業戦略	<b>1</b> 既存顧客の拡大	<b>2</b> 新規顧客の開拓	<b>3</b> 新領域商品・技術開発
魅力要素	音響空間システムインテグレーション		音響空間マネージメント

	プレミアムサウンドシステム	プレミアム音響空間デザイン	次世代音響補正システム
商品イメージ	多チャンネル AMP 高効率システム	高効率システム  空間デザイン	高効率システム →  空間デザイン → コックピットのあらゆる場所へサウンドモジュール展開

新事業・センシング・コミュニケーションにターゲットを絞り  
 マーケティングとオープン・イノベーションを創出。

領域

アイテム

方針

新事業

コネクテッド、ソフトウェアサービス

新ビジネスモデルの創出

センシング

車室内センシング・アルゴリズム

ソリューションビジネス創出

コミュニケーション

TCU、アンテナ

協業・オープンイノベーション

NRA活用

ADAS、クラウド、EV

ADAS、クラウド、EV

【アルパイン】

トータルソリューション開発

コネクテッド

センシング

コミュニケーション

HMI

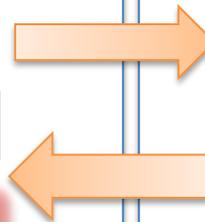
【NRA】

※(Neusoft Reach Automotive Technology)

EV

ADAS

クラウド



## EV・クラウド・ADASの急速な普及 → 中国激変

一定数量の環境車(HVは含まず)を各自動車メーカーは販売する必要有り。未達成時は罰金。

中国NEV法  
(ZEV法)

2020年目標  
EV累計500万台

中国政府認可機関のバッテリー以外は、補助金無し。(売れない)

BAT-Pack  
中国産縛り

EVを除くナンバー  
プレート取得規制

EV充電スタンド  
通信中国独自規格

2018商用車  
ADAS義務化

EV 通信  
モジュール義務付け

スマホ販売世界1位  
有料APP 世界2位

EV関連  
CLOUD関連  
ADAS関連

# Neusoft Reachの取組

Neusoftの強みであるITの総合技術と人脈を活かし  
クルマを中心としたスマートモビリティの実現を目指す。

中国社会におけるクルマを中心としたスマートモビリティの実現

車メーカーのサプライヤーとして

車メーカーの顧客として



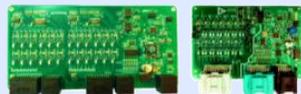
## EVパワートレイン事業



## クラウド(カーシェア)サービス事業

### EVソリューション

- ◆ BMS(バッテリー監視)
- ◆ スマート充電
- ◆ バッテリーパック



### ADAS

- ◆ カメラ・センシング

開発-量産-生産まで一貫体制

## Neusoftのビッグデータ・AIを活用



- ◆ 2016年度中に2都市で実証実験済み。
- ◆ 2017年度中に6都市展開予定。

## 開発/評価プロセス連携・ソフトウェア開発効率アップ。

- 1. 開発プロセス刷新
  - ◆ 意思決定プロセス
  - ◆ 開発環境・ツール刷新
- 2. ソフトウェア開発効率化
  - ◆ 開発プロセス標準化
  - ◆ 構成・構造のPF化



### 研究開発(RD)ステージ

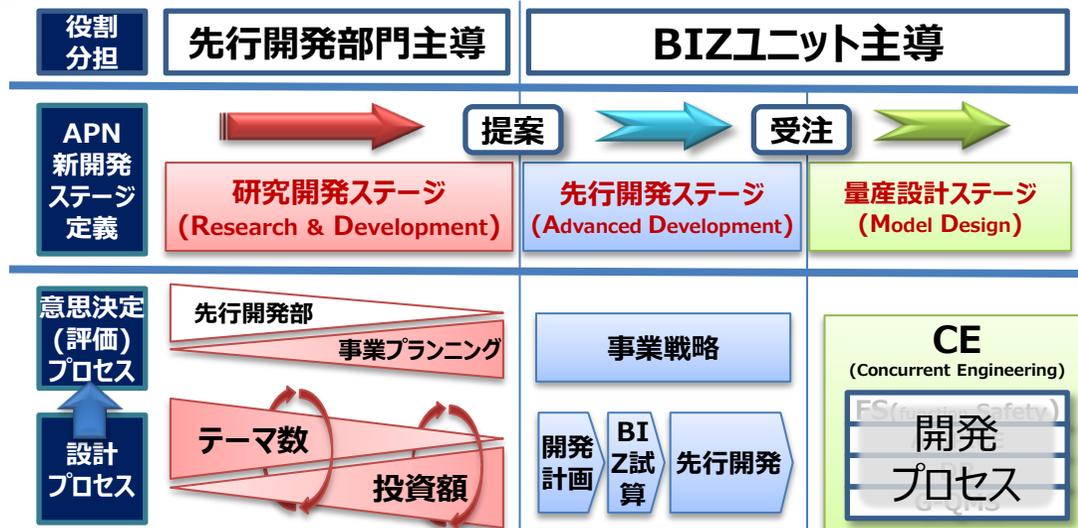
- 先行提案する為の新事業/新機能創出

### 先行モデル開発(AD)ステージ

- 先行要素/機能/PF開発管理をBU毎に

### モデル設計(MD)ステージ

- 設計・評価プロセス連携強化/標準化



# 4/1付 国内生産子会社を再編

目的：製造機能の強化及び生産効率化の向上。

## アルパイン プレシジョン株式会社



事業内容

成形加工部品製造

合併

## アルパイン マニュファクチャリング株式会社



国内統合

マザー工場として部品加工から  
完成品組立てを担う。

## アルパインテクノ株式会社



事業内容

基板実装  
EMS加工組立

合併

国内マザー工場として機能・生産拡大を図ります。

<b>ビジョン ステートメント</b>	アルパインは、あなたのカーライフを豊かにする モバイルメディア・イノベーションカンパニーを目指します
<b>コーポレート メッセージ</b>	<b><i>Driving Mobile Media Innovation</i></b> モバイルメディアの未来価値へ
<b>事業領域</b>	<b>AVNCD 2.0</b> A : <u>A</u> udio V : <u>V</u> isual N : <u>N</u> avigation C : <u>C</u> ommunication & <u>C</u> loud Service D : <u>D</u> rive Assist & <u>C</u> ockpit <u>D</u> isplay
<b>事業目標</b>	<b>2020年 3,300億円</b> <b>営業利益率 5%</b>
<b>成長戦略</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 新分野参入とお客様のCar LIFEを軸に、ORIGINALITYある顧客価値の創造 —— ビジネスモデル</li><li>● 技術の内部蓄積と積極的な外部アライアンスによる競争力の強化 —— 技術・商品開発</li><li>● 顧客志向を軸に、人と組織・仕組みのグローバル連携 → Global One Team —— 人と組織・仕組み</li></ul>





**Driving Mobile Media Innovation**